

データの最適化による組織の競争力強化

PPM + BI = 信頼性、セキュリティ、自信による成功

最新の強力なBIソリューションとPPMスイートを統合すると、組織は次のレベルに飛躍して、プロジェクトの実行を変革できます。

Andy Jordan

CA Project & Portfolio Management

ビジネス・インテリジェンスの必要性

プロジェクト & ポートフォリオ管理 (PPM) ソフトウェア製品群は、ここ数年で大きく進化しました。もはや単なるタスク統合ツールではなく、投資の計画と管理から複数のイニシアチブのコラボレーションとワークフロー自動化までのすべてに対応した強力なエンタープライズソリューションになっています。

しかし、重要な要素の1つであるレポートリングは、ほとんど変わっていません。

今日のレポートは、もちろん、表示の点では優れています。収集する情報量が増えたおかげで、単純な信号の図に代わり、ヒートマップを使用するなど、情報の点でも見た目の点でも改善されています。しかし、深く掘り下げてみると、これらのレポートは根本的にデータの概要にすぎません。

数年前なら、それで十分でした。当時の PPM ソリューションは、すでに発生した問題を分析し、マネージャが関連する問題に対応するためのリアクティブなツールでした。

しかし、現在は、それだけでは不十分です。今日のプロジェクトは戦略遂行の武器として認識されています。過去のイベントの戦術的な概要は、組織の進歩に役立ちません。現在も過去のイベントが重要であることに変わりはありませんが、その原因と意味、必要な対応を知ることと同じように（またはそれ以上に）重要です。

組織には単なるレポートリング以上の機能、つまり、ビジネス・インテリジェンスが必要です。

ビジネス・インテリジェンス：戦略と実行の連係

ビジネス・インテリジェンス (BI) ツールも進化しています。強力な分析エンジンよりもはるかに優れた最新の BI では、複数ソースから収集した情報を集約してエンド・ユーザにわかりやすく表示することが重視され、アジャイル開発も採用されています。ガーートナー社によると、「BI 市場はユーザへとその焦点を移し、広範なソースのデータを視覚的に表示するインタラクティブなダッシュボードがアジャイル手法で開発されています。データや分析のリードは、従来の BI プラットフォームを拡張またはアップグレードして、ビジネス価値が向上し、洞察がスピーディに提供される最新のプラットフォームにする必要があります」¹。

今日の BI のコンセプトは最新のビジネス管理のアプローチに整合しているため、プロジェクトの実行も変化します。成功した組織は、効果的なポートフォリオ管理によって戦略と実行を結びつけ、ビジネス・インテリジェンスを活用して機会と競合の脅威を特定し、機会と脅威にすばやく対応しています。

ただし、このような洞察を BI ソリューションで効果的に提供するには、適切なデータ、つまり、PPM ツールによって生成されるようなデータが必要です。そのためには、BI を PPM を統合することが重要です。

CA Project & Portfolio Management が強力な理由はそこにあります。

わかりやすいデータ = 有用なデータ

最新の BI ツールはガーートナー社が特定した目標を達成し、すでにモバイルにも対応しているため、あらゆる環境のあらゆるユーザが、基盤となるソース・システムに触れずに貴重な情報にアクセスできます。このような進化はさらに進み、たとえば、Microsoft®PowerBI® を同社のインテリジェント・パーソナル・アシスタントである Microsoft Cortana® と統合すると、わずか数年前には想像すらできなかったエンゲージメントと簡単なアクセスが実現します。

ただし、簡単なアクセスが実現しても、利害関係者に最適な情報が提供されるわけではありません。強力な BI ツールでも、データ・モデルが複雑すぎるためにボトルネックが発生する可能性があります。

PPM ソリューションと BI の機能の統合の効果を最大化するには、強力なビジネス・インテリジェンスと適切なデータ・モデルが必要です。また、セキュリティを認識し、すべてのカスタム・フィールドを自動的に組み込む専用のレポートリング用ウェアハウスも必要です。そして、最も重要なのは、すべてのユーザが必要な情報を簡単に入手して、わかりやすく表示できるようにすることです。

CA Project & Portfolio Management は、これらすべての要件を満たす唯一のソリューションです。

洞察からアクションまでを加速

最新の戦略を実行するとき、BIとPPMソリューションの統合は最大の効果を発揮します。Forrester Researchによると、「新世代の組み込み型BIテクノロジーでは、ビジネス・プロセスに洞察と分析が含まれます。そのため、洞察からアクションまでが最速で進みます²⁾」。ビジネスの機敏性を求める組織にとって、これは重要です。変更の必要性を認識してから、その変更が実行されるまでの時間を短縮できるツールが不可欠であることは、すぐに証明されるでしょう。

これまで、洞察からアクションまでに時間がかかっていたのには、以下の2つの理由がありました。

- 状況の変化への迅速な適応を妨げる惰性
- 正しい変化を判断する自信の不足と判断を誤ることに対する恐れ

BI主導のPPMでは、変化に起因する問題の透明性が向上するため、そのような惰性を克服できます。また、問題がさらに可視化され、容易に理解できるようになれば、サポートモデルも改善されて、プロジェクトチームとPMOはさらに変化を推進できます。

ただし、統合ソリューションの変革における価値が最大化されるのは、2番目の原因である、正しい変化を判断する自信の不足に對してです。

BIを使用すると、PPMの強力なプロジェクト・データを分析して、問題の特定、その原因、将来の成果に対する影響以外にも重要な洞察が得られます。それは、必要な対策に関する洞察です。これは処方的分析と呼ばれ、それによって、リーダーシップは正しい判断を行い、その判断は正しかったと確信できます。

BIとPPMソリューションの統合がビジネスの機敏性の重要な要素となっているのは、判断にかかる時間が短縮され、正しい判断であると確信できるからです。

組織全体への影響

PPMとBIの統合によって、これほど多くの利点をもたらされるのはなぜでしょうか実際の例を見てみましょう。

エグゼクティブ・チームとプロジェクト・マネジメント・オフィス（PMO）がポートフォリオのレビューを行っているとし、3つの制約を焦点にしたPMOのダッシュボードの代わりにCA Project & Portfolio Management (CA PPM)を使用すると、エグゼクティブ・チームは組織にとって重要な基準に基づいて成果に関する情報を確認できます。CFOはコスト情報を計画と現在の予測と比較して、コストに問題があればドリルダウンして問題の要素や原因を特定できます。製品チームは新規リリースのスケジュールを確認して、販売やマーケティングのチームとリアルタイムで計画を作成し、それに従って適切な市場開拓戦略を調整できます。そうすることで、CFOが財務会計上の利点を検討するときに使用できる情報も増えます。

また、CEOは新たに特定された新興市場の機会に対し、さまざまなアプローチを検討することができ、すべての利害関係者は提案されたオプションのそれぞれが、現在のイニシアチブや予定されているイニシアチブにどのように影響するかを予測できます。概要と詳細をシームレスに切り替えて、ひと目で理解できるグラフィックを使用すれば、これらはすべて1つの会議で行うことができます。Cortanaの豊富なインテリジェンス機能を使用すると、利害関係者は自分の座席に座ったままで、それぞれに必要な分析を進めることができます。会議後は、次の会議への移動中ならモバイルデバイスで、オフィスへ戻るならラップトップで必要な情報を再度確認できます。また、基盤となるPPMソリューションにログインしたり、その機能を理解する必要もありません。

完全に統合されたソリューション、つまり、BI ツールと PPM のデータ・ウェアハウスを組み合わせたソリューションを提供できれば、これまでない高度な管理の制御と機能を提供できます。

CA PPM は組織固有の使用に合わせてカスタマイズできるため、独自のフィールドを作成して、独自の方法でセグメント化およびフィルタリングしてプロジェクトを表示できます。プロジェクトとポートフォリオの専門家は、イベントやトレンドの原因を理解して、意思決定に役立つ分析を行うことができます。リーダーは、代替のアプローチの利点と影響を容易に評価することができます。また、そのために高度なデータ分析スキルが必要とされることもありません。

これは幻想ではありません。世界クラスの PPM ソリューションの未来です。

大きな利点と大きなコスト削減

このような利点に加えて、BI と PPM ソリューションの完璧な統合には大幅なコスト削減の利点もあります。

Tumble Road LLC の Treb Gatte 氏は次のように述べています。「特別なレポートのために最適化されたデータの価値を過小評価しないでください。平均的な部門では、特別なレポートを 1 年に 50 作成し、1 つのレポートにつき 32 時間分の労力と 6,200 ドルのコストを費やします。その労力の 70% は、クエリの作成と不要なデータのクリーン・アップに費やされています」。

さらに、「最適化されたデータと適切なレポート・ツールによって、特別なレポートの作業が大幅に軽減され、年間 20 万ドルのコストが削減されます。」と、同氏は指摘しています。これはおそらく控えめな数字ですが、このようなソリューションではスピーディな投資回収が可能であることを物語っています。

まとめ：次のレベルへの飛躍

最新の強力な BI ソリューションと PPM スイートを統合すると、組織は以下によって、重要ないくつかの分野で次のレベルに飛躍することができます。

- **プロジェクトのパフォーマンス・メトリクス** - 単純な履歴レコードではなく、目標達成のロードマップを構築できます。
- **ダッシュボードとレポート** - 従来の静的な履歴レコードではなく、動的でインタラクティブな将来を示すインジケータとして利用できます。
- **プロジェクト情報** - 成功に不可欠なビジネス上の意思決定に必要なデータが高信頼性で提供されます。
- **ユニバーサル・アクセス** - プロジェクトや PMO チームの視点に制限されずに、必要な情報をいつでも利用できます。あらゆるユーザーがあらゆる形式、あらゆる詳細レベルで常時利用でき、個々のコンシューマーが指定した方法で表示できます。

ビジネス管理の進化が PMO やポートフォリオ管理に大きな変化をもたらしているように、PPM ソフトウェア・ソリューションも進化を続けるでしょう。ただし、今日のアジャイルなビジネスの必要性を考えると、PPM の役割についてはより広い視野が必要です。

コア機能の強化はもちろん重要ですが、より広い範囲で捉えれば、これらのソリューションは、企業の業績向上にも貢献する必要があります。また、リーダー、マネージャ、チーム・メンバは問題に直面したときに、よりの確に判断する必要があるにもかかわらず、明確で有用な情報へのアクセスの重要性は見落とされがちです。

機敏性を向上させ、ワークフローを合理化して、競争が著しく激化した今日の環境で成功を目指す組織にとっては、統合されたプロジェクト & ポートフォリオ管理ソリューションは任意のソリューションではなく、必要不可欠なソリューションです。

CA Project & Portfolio Management の詳細、および優れたビジネス・インテリジェンスと強力な PPM の組み合わせが組織にどのように役立つかについては、ca.com/jp/PPM をご覧ください。

CA Technologies にアクセスしてください



CA Technologies (NASDAQ: CA) は、企業の変革を推進するソフトウェアを作成し、アプリケーション・エコノミーにおいて企業がビジネス・チャンスを獲得できるよう支援します。ソフトウェアはあらゆる業界であらゆるビジネスの中核を担っています。プランニングから開発、管理、セキュリティまで、CA は世界中の企業と協力し、モバイル、プライベートクラウドやパブリッククラウド、分散環境、メインフレーム環境にわたって、人々の生活やビジネス、コミュニケーションの方法に変化をもたらしています。

詳細については、ca.com/jp をご覧ください。

1 Cindi Howson 他、Gartner Inc. 「Critical Capabilities for Business Intelligence and Analytics Platforms」 2017 年 3 月 2 日

2 Boris Evelson および John R. Rymer、Forrester Research, Inc. 「The New Generation of Embedded BI Will Close the Insights-to-Action Gap」 2017 年 4 月 11 日



Copyright © 2017 CA. All rights reserved. Microsoft、Power BI および Cortana は、米国およびその他の各国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。本書に記載の他のすべての商標、商号、サービス・マーク、ロゴは、該当する各社に帰属しています。本書は情報提供のみを目的としています。本書は適用される法律で認められる範囲で CA が「現状のまま」提供するものであり、いかなる種類の保証も伴いません。これには、特定の目的に対する市場性または適合性、非違法性についての黙示の保証が含まれますが、これに限定されるものではありません。CA は、本書の使用によって直接的または間接的に生じた損害について、たとえ CA がかかる損害について明確な通知を受けた場合でも、一切責任を負いません。これには、利益の損失、事業の中断、営業権、データの損失が含まれますが、これに限定されるものではありません。 CS200-295548_0817